

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

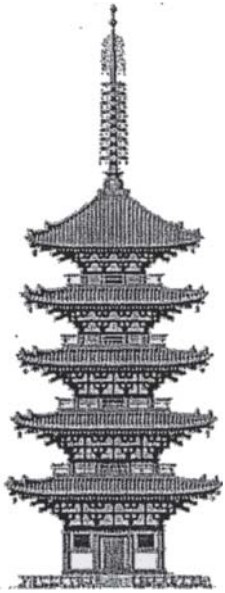
皆さん、こんにちは。秋の気配も深くなり、朝晩は涼しくなりました。くれぐれもご自愛ください。さて、紙上遍路のかわら版。残すは三ヶ寺、いよいよ結願。最後まで頑張りましょう。今月も元気に出発です。

★讃岐最古

八十五番から約六キロメートル、八十六番は**補陀落山(ふだらくざん)志度寺(しどじ)**。讃岐の最古刹。創建は日本に仏教が伝来して間もない**大和朝廷**時代の**推古三十三年**と言われている。

この地の尼、**凡菰子(おおしのそのこ)**が志度の浦に漂着した**檜の霊木**を引き上げると、**閻魔大王**の化身が現れ、その霊木で**十一面観音像**を彫って姿を消しました。それを祀ったのが寺の縁起です。

補陀落山はインドの南方にある**観音菩薩**の住む世界です。**藤原不比等**がこの地の海女である



つた妻の墓を建立。堂宇を立てて**死渡道場**と称しました。死渡は極楽浄土へ渡るといふ意味でした。息子の**房前(ふささき)**が**行基菩薩**と一緒に寺を訪ね、母の菩提を弔って諸堂を再興。寺号を**志度寺**に改称。

この寺は、**近松門左衛門**の浄瑠璃「**大織冠(たいしよっかん)**」や謡曲「**海人(あま)**」の舞台になっています。

★大会陽福奪い

八十六番から約七キロメートル、八十七番は**補陀落山長尾寺(ながおじ)**。

行基菩薩がこの地を巡錫し、路傍の**楊柳(ようりゅう)**に靈験を感得。この柳で**聖観世音菩薩像**を彫り、堂宇を建てて安置したのが開基です。

観音様がご本尊なので、山号は八十六番と同じ**補陀落山**です。

お大師様もこの寺を来訪。年初の七夜にわたり護摩修法を行い、人々に**護摩符**を授けました。

この行事は今日まで、毎年正月七日に行われる**大会陽福奪い(だいえようふくうばい)**として続いています。

宝木が撒かれ、三宝にのせた大

鏡餅で力比べも行われます。境内には、**源義経**の側室であった**静御前(しずかごぜん)**が母の**磯禪尼(いそぜんに)**とともに得度した後、髪を埋めたと伝えられる**静御前剃髮塚**もあります。



四国八十八ヶ所霊場マップ (八十六番から、八十八番)

★鑑真和上

いよいよ**結願所**に向かいます。八十七番から約十五・六キロメートル。待ち遠しくも、お遍路が終わるのが名残惜しく、一步一步に思いがこもる道中です。八十八番は、徳島県境に近い**矢筈山(やはづやま)**中腹にある**医王山大窪寺(おおくぼじ)**。

この寺も、**行基菩薩**が巡錫した折、**霊夢**を感得して草庵を建てたのが開創縁起です。唐から帰朝したお大師様は、現在の奥之院付近にある岩窟で**虚空蔵求聞持法**を修法。

お大師様は谷間の窪地に堂宇を建て、**薬師如来像**を彫って本尊とし、地形に因んで寺号を**大窪寺**としました。

お大師様が**長安青龍寺**の**惠果和尚**が納められています。

お大師様のご本尊に水を捧げるため、杉の根元を**独結**で加持して湧き出した**清水**は今日まで絶えたことがなく、多くの人がその薬効のご利益を受けています。

お大師様の高弟、**真洛(しんぜい)**僧正が住職の頃から、女性の参拝も許され、**女人高野**として興隆しました。

お遍路をともしした**金剛杖**は**道中**と**大師**と呼ばれます。菅笠などとともに、毎年春秋の**紫燈大護摩(さいとうおおごま)**で供養されます。

大窪寺に辿り着いたお遍路さん。最後のお勤めを終えると「**もったいないこと南無大師遍照金剛**」と繰り返して立ち去り難い思いで一杯になります。

生きていくことに感謝し、**結願**します。

★総集編

たかが紙上遍路。されど紙上遍路。何だか感無量ですが、来月は八十八ヶ所霊場の総集編です。

